

工場見学に来てくださいました！

—高松市立前田小学校 第4学年の皆様—



昨年10月5日（金）、高松市立前田小学校 第4学年 38名の皆様が
国分寺工場に見学に来てくださいました。前田小学校様は昨年も見学に来てくださっています。

見学では、ビンを色ごとに選別する様子や、磁石を用いた特殊な機械
でスチール缶とアルミ缶を選別する様子などを見ていただきました。



ペットボトルの中の飲み残しを手作業で出すところを見ていただいた際には、
「飲み残しはどうするんですか？」とその場で質問が挙がりました。
ちなみに、この飲み残しは専用の容器に移し替えた後、
当社の千疋工場では微生物による処理を経て水に戻しています。

また、見学中に一番聞こえてきた声は「くさい！」でしたが、当社がリサイクルしている
ビン・缶・ペットボトル、容器包装プラスチックにもともとニオイはありません。
では、工場中に充満しているニオイの原因は何なのでしょう？

それは、ビン・缶・ペットボトルの中の飲み残しや
容器包装プラスチックに付着した汚れや食べ残しが
腐ったものだと考えられます。

せっかくリサイクルに出しても、飲み残しや食べ残し
があると、その汚れによってリサイクル品の品質が
低下したり、作業する際に余計な手間が掛かったりして、
結果的に「ゴミ」として焼却することにもなりかねません。



見学の最後には、
「ニオイはきつかったけれど、働いている人も苦労している
ということが分かりました。」や
「違うものが入っていたら選別が大変だと思ったので、
これから気を付けようと思いました。」と感想をいただきました。

前田小学校 第4学年の皆さん、ありがとうございました。

リサイクルに出す際は、容器を空にしてから、汚れがひどいものは水で軽くすすいでから、
決められた収集日に出すようにしてください。

「資源」としてもう一度生まれ変わらせるためには、
一人ひとりの心掛けとほんのひと手間が不可欠です。ご協力をよろしくお願い致します。

